

令和3年5月20日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：「国際協力をする前に考えること」

企画実施概要：①実施内容
1) 弊団体のODAで行っている事業について紹介
2) 国際協力をする前に考えること(ワークショップ)
・ 貧困の輪
・ 世界がもし100人の村だったら
・ 違いの違い
3) 国際協力をする前に考えておくこと
②対象者および参加人数
新庄東高校1年生6人、じもと大学事務局とらいあ3人 合計10人

2 出張者氏名 阿部真理子

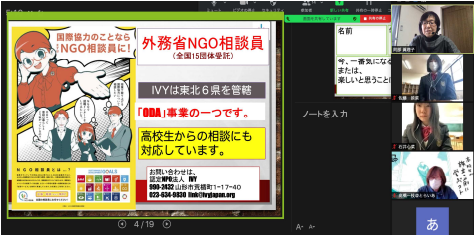
3 依頼元／主催団体名 新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム

4 実施予定日時 令和3年3月11日 (木) 15:30～17:00

5 実施場所 学校法人新庄学園 新庄東高等学校(山形県新庄市)

6 実施報告
1 貧困といってもどのくらいの差があるのか知らなかったの、すごい差があるという事実に衝撃を受けました。この差は問題だと思いました。
2 将来、医療系に進みたいと考えているので、貧困地域の医療がどうなっているのかに関心を持った。
3 学校に行きたくても行けない子どもたちがいるということ、実感としてなかなか考えられないが、行きたくても行けない環境で暮らすのは、厳しい状況だと思った。

7 写真

	
NGO相談員の説明を受ける参加者	最後、教員も入り、話し合った。

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月20日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 卓話「コロナ社会の国際協力活動」及び相談会

企画実施概要: ①実施内容
海外進出企業の多い天童西ロータリークラブにおいて、コロナ禍の中、活動を継続している国際協力活動を報告した。その後質疑応答、幹事会メンバーからの国際協力の事業案の相談にのった。
②対象者および参加人数
天童西ロータリークラブ、会員・事務局 計18人

2 出張者氏名 安達三千代

3 依頼元／主催団体名 天童西ロータリークラブ

4 実施日時 令和3年3月15日 (月) 12:30 ~15:00

5 実施場所 ホテル王将(住所:山形県天童市)

6 実施報告 ・コロナ禍の中、ODAの国際協力事業を継続されているNGOさんこちらが元気をいただいた。来てよかった。

・PCR検査、感染予防対策、帰国後の成田空港での自主待機等、カンボジア、バングラデシュ、イラク等のコロナ事情についての情報交換できて良かった。

・ミャンマーの情勢についても聞けて良かった。

7 写真



卓話開始前の会場準備の様子

(写真1)



バングラデシュ・ミャンマー避難民キャンプ・コロナ感染予防のための消毒作業チーム育成(ODA事業)等をスライドで紹介

(写真2)

以上

令和3年3月16日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: NGO入門講座&個別相談会

企画実施概要: ①実施内容 NGOの組織・事業運営について、2団体の個別相談対応を行った。名古屋NGOセンターの活動内容を紹介し、名古屋地域のNGOの現状について情報提供した。

②対象者および参加人数 2団体3名

2 出張者氏名 村山佳江

3 依頼元／主催団体名 (特活)名古屋NGOセンター

4 実施日時 2021年3月14日 (日) 13:00~16:30

5 実施場所 交流スペース「まちスポ飛騨高山」

6 実施報告 岐阜県飛騨地域でSDGsの普及を進める団体の代表から活動内容を伺い、教育など飛騨地域の抱える課題について共有・情報提供を行った。また、名古屋NGOセンターのSDGsに関する取り組みを紹介し、SDGsについて情報提供を行った。

高山市を中心に多文化共生に取り組む団体の代表及び副代表から活動内容を伺い、周辺に住む外国人(およそ860人)の現状と課題について共有した。設立して間もない中でコロナ禍に突入し、設立当初思い描いていた活動ができていない現状を伺い、今後について組織運営に関するアドバイスをを行った。また、名古屋NGOセンターやJICAの多文化共生に関する取り組みを紹介し、名古屋周辺のNGOに関する情報提供を行った。

残念ながら個人を対象とした入門講座の参加者はいなかったが、事前広報を行う中で上記2団体以外に国際協力に取り組む複数の団体と連絡を取り、名古屋NGOセンター及びNGO相談員の紹介を行った。

7 写真



個別相談会



会場の「まちスポ飛騨高山」

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 加古川北高校での国際協力についての講演

企画実施概要：①実施内容
同校のIntercultural DayにてNGOによる国際協力活動についての講演2コマを行った。

②対象者および参加人数
同校の1年生 268人

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／
主催団体名 兵庫県立加古川北高校

4 実施日時 令和3年3月8日（月） 8:45～10:35、10:45～12:35

5 実施場所 兵庫県立加古川北高等学校（兵庫県加古川市野口町水足867-1）

6 実施報告 Intercultural Dayに登壇した。構成としては下記のように進めた。
1. 国際協力って何？SDGsから考える
2. 難民と私たち
3. ワークショップ「逃げる難民」
4. 感想文記入＆質疑応答

座学とワークショップという構成で、実際に生徒の方に難民の状況を体験してもらった。2時間×2回だったため、内容を深めることができた。講演後には「将来、国際協力の仕事がしたい」という生徒が相談に来てくれるなど、将来に繋がるものであった。

7 写真

	
講演の様子 (写真1)	学校が掲示してくれたNGO相談員ポスター (写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 北須磨高校でのSDGsに関する講演

企画実施概要：①実施内容

ユネスコスクールである北須磨高校にてSDGsの必要性や重要性及びNGOの取り組みについて講演を行う。またオンラインにてバングラデシュの難民申請者の方のお話を聞いた

②対象者および参加人数

同校の2年生247名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／
主催団体名 兵庫県立北須磨高等学校

4 実施日時 令和3年3月16日（火） 9:35～10:30

5 実施場所 兵庫県立北須磨高等学校（兵庫県須磨区友が丘9-23）

6 実施報告 SDGs講演会に登壇した。内容はSDGsと難民について。SDGsについてはGoal3の健康、Goal4の教育の具体例を説明した。難民に関してはGoal10、Goal11、Goal16が対象となるので、そちらの説明を行い、実際に国内にいる難民申請者の方に体験を話していただいた。

同校では事前学習として難民について学ぶプリント学習を行っており、またSDGs講演会の直前に難民について学ぶ、映像教材を観ていたことから理解度も高く、難民について複合的な角度で学んでもらえた。

学校からの下記の報告の通り、「生の話を聞く貴重な機会だった。可能であれば今後も継続して来てもらいたい」というフィードバックをいただいた。

7 写真

SDGs講演会を行いました！

3月16日（火）2年次を対象に、SDGs講演会を行いました。PHD協会坂西卓郎様にご講演をお願いし、「SDGsの必要性和NGOの取り組み」と題して、お話しいただきました。PHD協会では、アジア・南太平洋の青年を研修生として招き、農業・保健衛生・地域組織化等の研修を行うところから帰国後のフォローアップまで、発展途上国の支援を行っています。今回は、バングラディッシュ人の難民を受け入れられていることから、難民問題への日本の関わりについて詳しくお話しいただきました。「自国で安全に暮らす」という、当たり前だと思っていたことが認められない、難民の状況に驚きを隠せませんでした。社会に出るまでに、知っておくべきことがたくさんあることを実感しました。



北須磨高校で作ってくれた報告書

（写真1）

以上

令和3年3月31日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 広島大学大学院生に対するNGO自体の活動や
紛争地域の活動についての出張サービス

企画実施概要: ①実施内容
国際協力を学ぶ大学院生に対して下記内容を説明
1. NGO全体のこと(種類・組織体制・活動方法etc)について
2. NGOの事業地での活動について
3. 特に紛争地域やミャンマーの活動や情勢について

②対象者および参加人数
留学生(タイ、フィリピン、メキシコなど)および教授 合計7名

2 出張者氏名 安間叙通

3 依頼元／主催団体名 広島大学人間社会科学研究科人文社会科
学専攻国際平和共生プログラム

4 実施予定日時 令和3年3月20日 (土)

5 実施場所 会場名: 思惟の森 (住所: 広島県神石郡神石高原町)

6 実施報告 広島大学人間社会科学研究科人文社会科学専攻国際平和共生プログラムに通う大学院生(留学生)に対して、PWJの活動を通してNGOに関して、また紛争地域の活動に関して話す機会を設けた。

学生の専攻する分野や出身国、そして関心のある活動が多様であったことから、当初想定していたNGOについて・紛争地におけるPWJの取り組み、だけではなく、現在PWJ関わっているすべての国の活動概要を説明し、適宜質問を受け付けながら進めていくこととなった。

緊急支援から関わることで、支援対象地域に深く入り込むことができ、また緊急支援から復旧支援、開発支援と長くかかわっていくことを説明し、地域に根ざした活動がNGOとして、またPWJとしての活動であることを説明すると、各学生とも一時的な援助ではなく長く関係性を持つことの重要性を理解してくれた。

またNGO自体についてもPWJを例に、NGOの資金繰り、課題、強みなど多くの質問を受け付けた。大学院卒業後、日本で国際協力・平和構築に関わりたい学生からは実際に日本のNGOで働くことに関心があり、具体的にどのようなスキルが必要かなどの質問があり、それぞれの学生の状況に応じた回答をしている。

同伴していた教授からは、これからも関係性を保ち続けていきたいとのありがたいお言葉をいただいている。

[学生からの感想]

日本のNGOについての理解が深まりました。ピースウィンズ・ジャパンのような海外で活躍している団体があるということもすごく興味深い話でした。お忙しい中にも出張で来て頂くこともとても感謝です。また次回機会があれば、今回参加出来なかった学生たちにもぜひお話を聞かせて頂ければと思います。今後とも宜しくお願い致します。

7 写真

	
教授との意見交換の様子	発表の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年3月31日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** Online若手キャリア相談会～本部勤務～
- 企画実施概要：**
- ①実施内容
国際協力に関心がある学生・若手社会人に向け、弊団体のスタッフ（特に本部勤務）の経歴・経験を通して、NGOで働くことに関してより具体的にイメージできる場をOnlineにて提供する。
 - ②対象者および参加人数
学生・社会人 13人(Onlineイベント参加者)
SNSでの聴講者 608人(3/31 19:00時点)

2 出張者氏名

井上慶子、相島未有沙、小澤健太、安間叙通、町浩一郎、武田いづみ

3 依頼元／主催団体名

ZoomによるOnline自主企画

4 実施予定日時

令和3年3月25日（木）

5 実施場所

Online Zoom (Peatixを利用したイベント実施)

6 実施報告

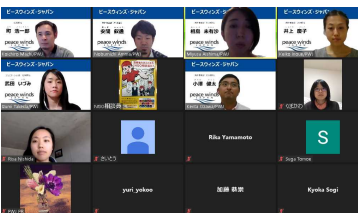
多くの人がキャリアのことを考える年度末の時期に国際協力業界へ一歩を踏み出したいと考えている若手の人たちに向け、業界およびNGOのことを知ってもらい、今後のキャリアを考えるための機会を提供するためにOnlineイベントを実施した。

参加申込者数は制限を設けた20名分の申し込みがあった。大学院生・社会人、そして国内・海外からも申し込みがあり、Onlineによって実施したため多様なバックグラウンドを持った人が集まった。平日の夜ということもあり実際に参加した人数は申込者数より若干少なかったが、そのおかげでそれぞれの質問に時間をかけて応えることができていた。

今回は日本の本部スタッフの仕事を主に紹介したが、NGOの本部スタッフの仕事は“後方支援”ではないというメッセージが伝わったなどの感想をいただき、あまり注目がされることのない本部スタッフの仕事の理解促進に繋がった。
また参加者は多様なキャリアを持つそれぞれの登壇者に自身のキャリアや現状を重ね考えることで、自身の今後のキャリアをイメージすることができていた。

イベント実施後には、当団体のSNSにてイベントの一部を録画した動画を配信している。キャリア相談イベントとなるとどうしても人数が限られてしまうが、SNSを利用することで、時間がたつて見返すこともでき、より多くの人に発信ができていた。3月31日19:00時点で608人が見ており、実際に多くの人に発信ができていた。

7 写真

 3. NGOの仕事とは	
発表の様子	質疑応答の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年3月31日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：ミャンマーにおける保健医療アクセス向上に挑む ～国際的に活躍する女性ロールモデル～

企画実施概要：

①実施内容

ミャンマーにおける活動事例(非感染症対策)を通じて、国際協力に対する関心や理解を深めてもらい、NGOが関わるさまざまな国際協力の事例や携わり方、キャリアパスなどを紹介した(ゲストスピーカー 中外製薬株式会社)。

②対象者および参加人数

25名(学生20名 教職員・関係者5名)

2 出張者氏名

山上正道

3 依頼元／主催団体名

国立大学法人島根大学 ダイバーシティ推進室

4 実施日時

令和3年3月31日 (火) 13:30～15:00

5 実施場所

オンライン

6 実施報告

実際に海外に行って活動されている方の話を聞くことができ、貴重な機会となりました。また、今の自分たちがSDGsの目標達成に向けてできることを、他学部の学生と考えることができ、それぞれ違った視点から学びを深めることができました。

普段、外国の医療や様々な企業の取り組みについて考えるときは、つい「自分とはかけ離れたこと」として捉えてしまうことがありましたが、今日グループで話し合う中で、自分たちにも意識できる身近なことが沢山あることを知りました。興味関心の幅を広げ、多くの人と関わりながら、知見を増やしていきたいと思いました。

実際に海外事業に携わる方や新薬や医療の普及を担う方の経験を交えたお話を聞くことができ、とても勉強になりました。また、NGOと民間企業の連携によって現地での活動がより充実することが分かりました。

7 写真

	
参加者のスクリーンショット	出張サービスで使用したスライドのスクリーンショット

(写真1)

(写真2)

以上